

# MサポNEWS

2018.Apr

## Mサポ登録団体紹介

### 助成金 はじめの一步

地域課題を解決する活動を続けていくための資金調達の一つの手段として、助成金の活用があります。本セミナーでは、助成金申請のポイントについてお伝えします。

- 講師：群馬県共同募金会・群馬県共同募金会前橋支会
- 日時：5月17日（木）18：30～20：00
- 会場：Mサポ会議室（参加費無料）
- 対象：NPO法人、市民活動団体、関心のある人
- 申込：Mサポ窓口・TEL・FAX・メールにて
  - ①氏名（ふりがな）②団体名③住所④電話番号をお知らせください。（FAXの場合は定員に達した場合のみご連絡します）
- 定員：先着24人
- 申込期限：5月15日（火）

### 身近なことから、ちょっとボランティア、はじめてみませんか 春のMサポクリーン活動にご協力ください

Mサポでは環境美化、参加者間交流、企業の社会貢献活動（CSR）の機会として、前橋プラザ元気21周辺のごみ拾い、草むしりを行います。皆様のご参加、ご協力をお待ちしています。

- 日時：5月20日（日）8：00～9：00  
（受付7：30～ 小雨決行）
- 場所：「前橋プラザ元気21」北側 フレッセイ前
- 持物：軍手、ほうき、ちりとり、ごみ取 Tong 等の清掃用具
- 申込：不要  
（直接集合場所へ）



## NPO法人NEWS

### NPO法人の定款変更について

NPO法人について、NPO法の改正(平成28年6月7日公布・平成30年10月1日施行)により、貸借対照表の公告が義務付けられました。NPO法人は上記施行日以後に作成する貸借対照表について公告する必要があります。（ただし、経過措置として、施行日前に作成した貸借対照表で直近のものについても公告する必要があります）また、公告の方法については、官報だけでなく電子公告等での公告も可能になりました。なお、貸借対照表の公告を現行の定款で規定されている方法とは別の方法とする場合は、定款変更が必要になります。その場合は、総会を開催し承認を受ける必要がありますので、ご注意ください。

### スタッフのつぶやき 『春を楽しむ』

- 大好きな山椒の葉に身も舌もしびれています (S・H)
- 残雪が春への贈り物となる雪の壁を見たいな！ (T・K)
- 尾瀬に水芭蕉を見にいきたい♪ (M・I)
- 木々の花々やちゅんちゅんのさえずりを楽しみたい (N・O)
- 清々しい空気の中、新緑の山歩きを楽しみたい (T・Y)
- 一瞬の桜吹雪。足元には桜の水面。絵になりますね。 (H・F)

### 前橋市市民活動支援センター（Mサポ）

URL <http://maebashi-shiminkatsudo.jp>  
 e-mail [21@maebashi-shiminkatsudo.jp](mailto:21@maebashi-shiminkatsudo.jp)  
 発行日：平成30年4月11日（隔月発行）  
 〒371-0023 群馬県前橋市本町2-12-1 前橋プラザ元気21/3F  
 tel.027-210-2196 fax.027-237-0810  
 開館時間：午前10時～午後10時（事務所は午後7時まで）  
 休館日：（12月29日～1月3日）※ただし、臨時に休館する場合があります  
 JR前橋駅から徒歩10分 車の場合、市営駐車場ご利用で4時間まで無料



### 2月・3月の新規登録団体

（3月31日現在、全登録団体数：331団体）

- オカリナサークルこだま  
オカリナ演奏を行う団体。公民館活動や老人ホーム慰問等の社会奉仕活動を実施し地域社会に寄与する。
- 前橋ジュニアオーケストラ  
青少年を対象としたオーケストラの団体。演奏活動を通じ情操を育て、前橋中心市街地の活性化に寄与する。
- 前橋市少年野球連盟  
少年野球の正しい普及と健全な運営に関する事業を行い、学童体育の向上と豊かな人間形成に寄与する。
- 社交ダンスすずらん  
社交ダンスを通して市民の健康増進を図る団体。ダンス技能を高め、マナーを学び、ボランティア活動も実施する。
- のりりり学会  
一般参加者が交通に関する意見を出し合う定例会の実施、交通に関する調査等を通して群馬の発展に寄与する。



### NPO法人 尾瀬愛しむ会

NPO法人尾瀬愛しむ会は、尾瀬入山者チャリティーイベント、チャリティーコンサート、施設の慰問活動等のボランティアを行い、尾瀬の文化遺産発展に寄与することを目的として活動しています。尾瀬には四季それぞれに愛おしい景色があります。しかし、尾瀬を訪れる入山者は、東日本大震災後、急激に減少しました。尾瀬を愛する私たちは音楽の分野においても尾瀬振興の一役を担うことができるのではないかと考え、尾瀬の歌を作詞・作曲し、CD化しました。これは尾瀬の各小屋の特設コーナーに並べられました。その後、2016年4月に片品村村長から尾瀬の郷親善大使の団体第一号として、委嘱状を受けました。

今後もNPO法人尾瀬愛しむ会では、尾瀬の自然保護「愛の募金活動」を募っています。ご協力を心よりお願いいたします。

#### <今後のイベント>

- 2018 みんなで唄おう山の歌・花の唄  
平成30年4月22日（日）13:00～16:00  
前橋市第二コミュニティセンター大ホール
  - 群馬県レクリエーション協会フェスティバル  
平成30年7月22日（日）群馬県庁ホール
  - みんなで唄おう山の歌・花の唄  
平成30年8月19日（日）桂萱公民館
- ※「うたのしおり」等、資料代300円がかかります

会長 英 保寛



2014 片品村収穫祭参加



2017 みんなで唄おう！山の歌 花の唄



至仏山頂



赤城山・裾野の春まつり

こころはひとつ

小さな思いが集まって、大きく大きく膨らんで、人と人をつなぎます。そこには優しい笑顔と楽しい空間が広がります。そんな願いのもとに梅の花も満開の頃、2018年2月24日、「Mサポふれあい祭り」は開催されました。Mサポ登録団体の6分の1（約55団体）が参加し、一般ボランティア60名、入場者数1600名。元気21の3階にたくさんの素敵な思いが集結しました。今年もテーマは「来て、見て、笑って、つながろう！」4年連続でお馴染みになったこのテーマ、Mサポふれあい祭りの真意を端的に謳い上げ、定番となりました。

そして、今年のスローガンは「Mサポの木にふれあいの花を咲かせよう！」。ここMサポに集うみなさんは、自らの価値観、信念、関心に基づいて、コミュニティへの貢献のために自発的に活動しています。みなさんの一人一人の確かな行動力がよりよいコミュニティをつくっていきます。そこに集うみなさんの活動、思いや願いを花にたとえれば、幹はMサポです。「Mサポという木にふれあいの花を咲かせたい！」それぞれを互いに大事にしながら、気遣いながら、自分の思いや笑顔を伝え、広がりつながってほしい。そして自分の花を咲かせてほしい。そんなMサポふれあい祭りを開催したい。スローガンの真意はここにあります。

このMサポふれあい祭りでは、企画・運営に関して、「自主自立をめざした市民活動を」の観点から、事務局Mサポの支援のもとに、登録参加団体の代表者が実行委員となり、実行委員会を組織してその業務にあたりました。前日準備では、メジャー片手に這いつくばりながら会場全体を1センチ単位で計測、ブース設営では渡邊博儀部会長のもとにみんなが一丸となって椅子机やパネルを端から効率よく設定、ホールでは、渡辺将弘部会長が作成した活動マニュアルのもとにみなさん協力してリハーサルまでスムーズに、ステージでは三中美術部の作成した看板が掲げられ、Mサポふれあい祭りには、一言では伝えきれない皆さんの温かい力が集結しています。

当日のオープニングでは、市民活動表彰式が行われ、顕著な活動が評価された5団体が山本市長から賞状を授与されました。市長は日頃から「大事なことは市民活動の多様性です。市民が市民の多様性の花畑になってほしい。様々な花が咲き乱れることでこの彩りももっと鮮やかになると思います。」と述べられています。

ここMサポふれあいの木は、みなさんのお陰で満開です！多様な美しい花が咲きました！Mサポふれあい祭りを通して、市民活動は自主的に運営して参加してこそ意義も深まり、本当の楽しさがそこにあると知りました。そして、集い合える場所づくりや活動を支援してくれるセンターの存在がこんなにも大きく大切であることも実感しました。それも携わったみなさんの「来て、見て、笑って、つながろう！」のテーマ実現のために取り組んでくださったお陰です。本当にありがとうございました。これからも市民と行政の協働の活動として、みんなの力で水を絶やさず、Mサポふれあいの木を育てていきましょう。

さあ、来年はどんな花を咲かせましょう！どうぞお楽しみに！！

Mサポふれあい祭り実行委員長 飯島 百合



前橋市市民活動表彰

今年度で第4回目となる「前橋市市民活動表彰」の表彰団体が決定しました。市民活動表彰は、市内において公益的な市民活動を行っている団体のうち、ひとむきで地道な取り組みを成果へと結び付け、地域に活力を与え、元気な前橋のまちづくりに貢献された団体に対して、前橋市が表彰を行うものです。

団体名
日本スポーツ吹矢協会前橋支部
球魂杯争奪少年野球大会実行委員会
ばるーんあーとくらぶ
南橋リサイクルの会
特定非営利活動法人 エコ・ボランティア

今年度は、推薦された団体から審査を経て、次の5団体が表彰団体となりました。

表彰式は、2月24日（土）に開催された「Mサポふれあい祭り」のオープニングにて執り行われました。



登録団体交流会

3月24日（土）、交流スペースにて、平成29年度登録団体交流会を行いました。46団体52人、年齢も10代から70代と幅広く参加されました。1時間という短い時間でしたが、自己紹介後の名刺交換、イベントの告知・団体紹介のパンフレット等のツールも用意、活動分野を問わず活発な交流が行われました。参加者からは、「楽しく歓談で来た」「意見交換ができた」「横のつながりができた」との声があがりました。アンケートでは、昨年の交流会参加の13団体が、24団体とつながったとの報告をいただきました。一緒にイベントに参加した団体も多くありました。

今回のアンケート結果を、今後の交流会に活かしていきたいと思えます。



NPO法人の日々の管理、運営、滞っていませんか？  
NPO法人の運営

3月8日（木）に「NPO法人の運営」を開催しました。NPO法人の設立から解散をするまでに必要な手続き、NPO法の改正、NPO法人会計基準の改正、運営について、Mサポ運営団体の萩原理事長の説明の後、社会保険労務士 渋谷庸介氏より就業規則、契約、雇用等について労務の説明をしました。

参加者からは、「年間で様々な書類提出の必要があることが分かった」「ボランティアに対する謝礼等、勉強になった。実態はどう取り扱われているのか知りたい」などの声がありました。



協働NEWS

まえばし市民提案型パートナーシップ事業 採択事業決定

市民と市が互いに協力して課題解決に取り組む「まえばし市民提案型パートナーシップ事業」の公開プレゼンテーション及び審査委員会が、平成30年3月10日（土）に開催され、平成30年度に市と協働で実施される事業が決定しました。

■採択事業

No.	事業名	提案団体名	担当課	事業の概要
1	「見守り訪問」を実施することによる「住民主体サービス」の提案	認定特定非営利活動法人 かけはし	長寿包括ケア課	介護保険制度の改正に伴い住民主体型サービスの提供が課題となっているが、本事業実施を通じ給付の適正化とボランティアの活動機会の確保を同時に進めることを目指す。
2	みんなの前橋への第一歩 ゲートキーパー入門“味方になりきるコミュニケーション”講座	特定非営利活動法人日本ゲートキーパー協会	保健予防課	市内公共施設で地域の各種団体や市民向けにゲートキーパー入門講座を行い、自殺予防に役立てる。
3	『御手杵の槍』による前橋ブランド力向上計画 まえコミ～御手杵フェス～（仮）開催事業	ギャラリー アートスーブ	文化国際課	毎年4月に前橋東照宮にて行われる「前橋藩主松平大和守顕彰祭」に関連し御手杵をテーマにしたイベントを開催することにより、顕彰祭との相乗効果や前橋のブランド力の向上を目指す。
4	寝相アートでつなぐママと地域と企業の輪～寝相アートギネスプロジェクト～	寝相アート	未来の芽創造課（子育て支援課・生涯学習課）	市内の子育てサロン等で寝相アートを実施することで、地域の人とのコミュニケーションを促し、社会全体で子育てを応援する風土づくりへと繋げる。
5	駅おん♪Maebashi～全ての道は前橋駅に通ず～	駅おん♪ Maebashi	交通政策課	前橋駅で市民団体が音楽で溢れる街をテーマに音楽活動やイベントの企画運営を通して有効活用することにより前橋市のまちづくり拠点の一つになることを目指す。

平成29年度実施事業の報告会を開催します！

平成29年度に実施した6事業について、協働の成果を発表します。  
日時：平成30年4月21日（土）13：30～17：00  
会場：前橋市中央公民館 505学習室

